

地域材活用セミナー及び見学会の開催について

1 はじめに

盛岡広域振興局管内には、アカマツや広葉樹資源が豊富にあることから、これら資源の有効活用に向けた取組を実施しています。

令和4年度は、特に店舗等非住宅での木材の利用を進めるため、建築事業者や店舗経営者を対象としたセミナーと現場見学会を開催しましたので、その内容について報告します。

2 地域材活用セミナー

令和4年12月8日に盛岡市のいわて県民情報交流センター(アイーナ)会議室において、「BeBA TERRACE」(ビバテラス)を中心とした店舗等非住宅への地域材活用について」と題し、施設の設計を手掛けたatelier meie(アトリエメイエ)一級建築士事務所の設計士である木村暁氏、木村彩氏から、施設をデザインした経緯や木材を使用するにあたっての工夫などについて、ご講演をいただきました。会場には約50名の参加者が詰めかけ、講演後の質疑応答ではたくさんの質問がだされるなど、設計に対する関心の高さが伺えました。

※盛岡市中央公園は、県立美術館、子ども科学館、遺跡の学び館、先人記念館が並ぶエリアのこと。これらの施設の南東部は「BeBA TERRACE」



セミナーの様子

(ビバテラス)として令和2年から整備が進められ、現在は様々なテナントが順次オープンし、賑わいのある施設となっています。

3 現地見学会

令和5年1月13日には、出席者約20人参加のもと、現地見学会を行いました。セミナーの際に講演いただいた木村設計士の案内により、施設を実際に見学することで、周辺の景観にあった建物の雰囲気や、木材利用にあたっての細かな工夫を感じることができました。

さまざまなテナントが入居するまなび棟の工事では、事業者との調整が大変苦労されたとのことでしたが、「地域に根付く建築を 地域の人と その地域の材で建てる」ことを理念とする姿勢に、参加者から共感する声が多くありました。

4 終わりに

今回のセミナー及び見学会では、参加者から「デザインコードの考え方」、「予算に応じた材料選択」等について、非常に参考になったとの感想を数多くいただきました。

盛岡広域振興局では、今後も様々な事例紹介等の取組により、アカマツや広葉樹の利用促進を図っていきます。



現場見学会の様子